

ミドル層のエンパワメント

# 教職 研修

月刊

The Kyoshoku Kōshū  
March 2024  
Vol. 62-7  
Whole Number 679

学校現場の挑戦に、勇気とアイデアを。

## 【巻頭インタビュー】

災害時、子どもたちに求められる力とは

石森大貴（ゲヒルン株式会社代表取締役）

## 【特集1】

# 未来の管理職が「育つ」学校へ

## 【特集2】

災害、感染症……教育活動が予定どおり進まない！

2024年度、不測の事態に備える

3  
2024

2024年3月1日発行通巻第619号  
(毎月1回1日発行)  
1972年10月26日第3種郵便物認可

写真de  
学校探訪

### 編集顧問

市川昭午  
若井彌一  
天笠 茂  
小川正人

栃木県宇都宮市立清原中学校  
本校のシンボルである緑豊かな環境は、「清原の杜」として多くの方から親しまれています。毎年、晚秋の風物詩である「こも巻き」を行っています。今後もこのすばらしい環境を生かした教育活動の推進に努めています。



# コロナ禍の 子どもたち

教員に求められる虐待・  
性暴力への眼差し  
——コロナ禍を経て



日本大学大学院  
危機管理学研究科教授

鈴木秀洋

最終回

## コロナ禍での児童虐待・性暴力の状況

2020年3月の学校臨時休校要請から翌9月までの4度の緊急事態宣言（22年3月まで蔓延防止等重点措置）により、教育環境は激変した。23年4月1日以降は基本的にマスク着用を求めるとの文科省通知、同5月には法律上「5類感染症」とされ、コロナ禍を過去と振り返る言説も増えた。

直近の増加率鈍化には、コロナ禍の影響が大きいと分析できる。学校の閉鎖・かかわりの減少、集団健診中止、保育園の利用自粛要請、ひろば・児童館の閉鎖、要保護児童対策地域協議会の中止、児相職員の出勤率減措置などで、子どもの声を十分拾えなくなつた。その後の学校等の再開により頭在化した事案もあるが、潜在化事案も多い。ストレスを抱えたとき、子どもは保護者（大人）と比較して、はけ口や相談の選択肢がないとの調査もある。

（参考文献）

①鈴木秀洋「VI. 子どもと家族の福祉」愛育研究所編『日本子ども資料年鑑』2022年。  
②鈴木秀洋「VI. 子どもと家族の福祉」愛育研究所編『日本子ども資料年鑑』2024年。

## コロナ禍を経て、今学校ができる」と

しかし、子どもと最前線で向き合う教員として、その認識でよいのだろうか。児童相談所の虐待相談対応件数の推移をみると、19年度19万3,780件（前年度比21.2%増）、20年度20万5,044件（5.8%増）、21年度20万7,660件（1.3%増）、22年度21万9,170件（5.5%増）となつており、統計上過去最多を更新し続けている（性的虐待の推移は19年度から2,077件、2,245件、2,247件、2,451件であり、全体の虐待に占める割合は1.1%と低い捕捉率）。

被虐待児の心の叫びが学校で拾われていないう現実を突きつけられる（最もキャッチがむずかしい「魂の殺人」＝性暴力事案はなおさらである）。信頼を得るために、子どもの目線よりもさらにワンランクダウンした立ち位置に身を置く姿勢が求められる。

筆者も、死亡事例検証委員を重ねてきた立ち位置から、皆さんと研修の機会を設けられればと思う。

# 最先端の児童学を学び、現場の課題解決に活かす。



聖徳大学大学院 通信教育課程 児童学研究科で

学んだ多くの修了生が、教育現場のリーダーとして活躍しています。

博士前期課程修了

富田 泰介さん (保育士)

博士前期課程修了

滝沢 和香奈さん (保育士から短大専門学校講師に転身!)

博士前期課程修了

川邊 敏明さん (教育委員会勤務)

子どもの「多様性」と「全体性」両面からアプローチ。  
日本初で通信制唯一の児童学研究科。

子どもの多様な側面を「5つの領域」から捉え、  
より広い視点から理解し、深みのある研究に繋ぎ、キャリアアップや  
キャリアチェンジに繋いでいきます。

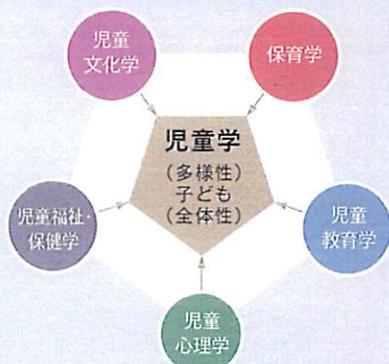
効率よく学ぶための履修制度があります!

## ▶長期履修学生制度

出願時に修業年限(3・4・5年)を選択し、申し出た上で学位を取得できる制度。

## ▶科目等履修生制度

専修免許状・学校心理士を取得される方が、科目を選んで履修できる制度。



無料

資料請求はこちらから



聖徳大学大学院  
通信教育課程特設ページ  
<https://tk.seitoku-u.ac.jp/tk/lp/grad/>



お問い合わせ

TEL: 047-365-1200 EMAIL: [tsuushin@wa.seitoku.ac.jp](mailto:tsuushin@wa.seitoku.ac.jp)



SEITOKU

聖徳大学は、文部科学省認可の通信教育を大学院・大学・短大のすべてに設置した日本初の大学です。

**聖徳大学大学院通信教育課程** 共学

〒271-8555 千葉県松戸市岩瀬550 聖徳大学5号館2階

定価 1200円  
本体 1091円 +税

雑誌 03059-03



4910030590340

01091